

法人の目的と方向性

- ◆ 大阪空襲の犠牲者を追悼し、平和を祈念する
- ◆ 空襲を中心に大阪の人々の戦争体験に関する情報・資料を収集・保存・展示する
- ◆ 戦争の悲惨さ・平和の尊さを次の世代に伝え、平和を願う豊かな心を育み、世界の平和に貢献する

【展示リニューアル後の展示の方向性】

「大阪中心」に「子ども目線」で「平和を自分自身の課題として考えることができる展示」

主に「平和学習施設」として運営

法人の事業・性格

- ◆ 主な事業
展示事業、企画事業、出かける展示、資料の収集・提供、「刻(とき)の庭」及び大阪空襲死没者名簿の管理等
- ◆ 法人の性格
「ピースおおさか」を運営し、府・市の共同事業として平和施策を実施することを目的に設立。「ピースおおさか」は府・市の公的施設としての側面を持つ。
- ◆ 運営体制及び財務状況
運営費の9割超を府・市の補助金に依拠。現在は職員5名という限られた人員のもと、企画事業・特別展は自主財源のみで実施。限られたマンパワーと財源で、効果的な運営が求められている。

中期経営計画の位置づけ

- ◆ 目的
「戦争の記憶を風化させることなく、次世代に戦争の悲惨さと平和の尊さを継承する」という方針のもと、法人の事業活動の確実な実施に向け、5か年の中期経営計画を策定する。
- ◆ 計画期間
令和7年度～令和11年度までの5年間

当計画期間における取組の方向性

教育環境の変化、訪日外国人観光客の増加、当法人博物館相当施設としての指定などの環境の変化に対応した取組が必要である。このため、本計画期間においては、前計画の基本方針を踏襲したうえで、デジタル化社会に対応した取組の強化、館内の多言語化や案内機能の充実など、来館者サービスの向上に取り組み、博物館機能を強化していくとともに、2025大阪・関西万博の開催を契機に、大阪の平和ミュージアムとしての認知度並びに集客力の向上に取り組み、世界平和の実現に向け貢献していく。

■ 6つの基本方針

平和学習の推進

ピースおおさかの
利用促進

館外での
資料活用

自主財源・
入館料収入の確保

博物館機能の強化・
他機関との連携

施設の安全性・
快適性の確保

計画の進捗管理

計画の進捗管理については、毎年度、理事会及び評議員会に本計画に基づく取組状況を報告し、計画実施の到達度を評価する。

6つの基本方針

① 平和学習の推進

- ◆ 学校等への働きかけの強化
⇒府内全小中学校への来館案内
来館率の低いエリアを優先し、校長会等で来館PRの実施
研修の誘致により、教員等に対する認知度向上
- ◆ 平和学習機会の提供
⇒貸出資料・デジタルコンテンツの利用促進
学校向けアンケートによるニーズの把握

【目標設定の考え方】

少子化の影響により学校数が減少する中、左記取組により毎年度来館校数を増加させることで、府内小中学校来館率を上昇させることを目標として設定する（計画最終年度：32.3%）。また、学校向けアンケートについて、毎年度「平和学習到達度」90%を維持する。

② ピースおおさかの利用促進

- ◆ イベントの魅力向上の強化
⇒特別展・平和祈念事業等の企画事業の充実
国際的な機関等、外部団体との連携
校外学習のない長期休暇の催しの充実
- ◆ 外国人観光客への情報発信
⇒大阪周遊バス等への参画
多言語対応の強化
- ◆ 研修の場の提供

【目標設定の考え方】

左記取組により、入館者数及び外国人入館者数について、いずれも毎年度増加するよう目標設定する（計画最終年度：入館者数77,900人、外国人入館者数8,660人）

③ 館外での資料活用

- ◆ 学校等に向けた貸出資料・デジタルコンテンツのPR
⇒校長会等でのPRの実施
- ◆ 出かける展示
⇒平和学習パネル・実物資料の館外展示
パンフレットの配架等PRを併せて実施

【目標設定の考え方】

左記取組により、貸出資料利用件数について、平和学習デジタルコンテンツの利用件数を毎年度増加するよう目標設定する（計画最終年度：415件（うちデジタルコンテンツ160件））。出かける展示については、毎年度12回をコンスタントに実施するよう目標設定する。

④ 自主財源・入館料収入の確保

- ◆ 寄附金の積極的なPRの継続
- ◆ ミュージウムグッズの充実
- ◆ 魅力のある企画事業の実施

【目標設定の考え方】

左記取組により、平和寄金収入及び入館料収入について、いずれも毎年度増加するよう目標設定する（計画最終年度：平和寄金収入977千円、入館料収入4,927千円）。

⑤ 博物館機能の強化・他機関との連携

- ◆ インターネット博物館を視野に入れた調査・研究の専門性の高度化
- ◆ 加盟している「日本平和博物館会議」との連携
- ◆ 国内外の関係機関と連携した企画事業の実施

⑥ 施設の安全性・快適性の確保

- ◆ H29年度より長期修繕計画に基づき、トイレ、屋根、外壁、エレベーター等の工事を実施
- ◆ 来館者の安全性・快適性の確保に努める

これまでの実績と中期経営計画の目標

前計画からの変更点について

○貸出資料利用件数

前計画期間中、新型コロナウイルス感染症の流行によりタブレット端末による学習が普及する等学習形態が変化したため、貸出資料の利用件数がコロナ禍前に比べ減少した。

こうした背景を踏まえて令和6年4月からデジタルコンテンツの提供を開始しており、新たな館外での資料活用法として推進していく。そのため、「貸出資料利用件数」の目標については従来の貸出資料利用件数とデジタルコンテンツ利用件数の合計を目標として設定する。

○入館料収入

当館では次の世代に平和の尊さを伝えるという法人の目的達成のため、主たる入館者である小中学生の入館料を無料としていることから、有料入館者数は全体数の約2割にとどまっている。本計画期間中には収入額を新たな目標として設定し、SNSなどを活用した情報発信や、魅力ある企画事業の実施により、有料入館者の集客力向上に取り組む。

	実績				見込	目標				
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
大阪府内 公立小中学校来館率 (%)	11.5	16.2	27.8	30.0	31.4	31.6	31.8	31.9	32.1	32.3
学校関係へのPR (回)	21	23	25	30	30	30	30	30	30	30
平和学習到達度 (%)	90.8	93.4	93.2	96.2	95.7	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
入館者数 (人)	28,088	35,163	59,666	72,543	76,945	75,600	77,400	77,500	77,700	77,900
外国人入館者数 (人)	138	154	1,220	5,374	8,000	8,132	8,264	8,396	8,528	8,660
貸出資料利用件数 (件)	237	253	244	285	405	407	409	411	413	415
従来 [※] の貸出資料	237	253	244	285	280	275	270	265	260	255
デジタルコンテンツ					125	132	139	146	153	160
出かける展示 (件)	7	8	10	11	12	12	12	12	12	12
平和寄金収入 (千円)	619	1,250	693	877	959	934	967	969	973	977
入館料収入 (千円)	1,628	1,523	2,416	3,835	4,526	4,341	4,649	4,742	4,834	4,927
(廃止) 入館者1人あたりの 事業費 (千円)	3,198	2,551	1,508	1,243	1,270					